

2021年04月14日（水）

昨日は、4月度・伊豆巡礼でした。巡路は、88番・修禅寺～1番・嶺松院～2番・弘道寺～国土峠～筏場～3番・最勝院手前。天気＝午前小雨～午後晴れ、距離＝約20km、参加＝12名。

<http://susono-reihou.babyblue.jp/01-127.pdf>・・・2017年の記録

小雨の修禅寺を出発。指月殿に寄る。狩野川を遡る。まだ、鮎釣りは早い。雲金で近藤鋼材のトイレを借りる。裏に現在、狩野川で唯一の吊り橋がある。大きく立派なもの。軽なら通行出来そう。



松ヶ瀬橋

名前を思い出せなかったので、近藤鋼材で聞いたら、「雲金橋」というが、2017年の記録を見たら、松ヶ瀬橋だった。確かに雲金集落にも掛かっているが、名前は狩野川西側、左岸の松ヶ瀬だった。

更に狩野川右岸を進む。（川の右岸・左岸は、上流から見て、右・左）ダラダラ上っていて厳しい。日曜日の丹沢登山の疲れが、まだ残っていた。やがて、1番札所・嶺松院。寺は、何かと五月蠅い。



一番札所・嶺松院

サポーターでご朱印係りのKは、「あーだ、こーだ」と、文句を言われたそう。従って、お勤めも小声で簡略した。しかし、今回は、ダメもとでご朱印を頼んだら何故か貰えた。前回、B班の時は、居るのにくれなかった。その件を4番札所・城富院で話したら、住職は後輩なので、話をして置かれた。それが功を奏したのか??

雨は止んだり降ったりを繰り返している。2番に向かう。途中、湯ヶ島手前のトイレの神様と呼ばれる、明德寺売店で、Tさんが、「ヨモギ饅頭」を買った。一つ頂いたが、アンコが美味しい饅頭だった。

約3時間ちょっとで弘道寺着。電話で聞いた通り、葬儀中だった。亡くなったのは「浅田光政」さまだった。私と同年だった。本堂で葬儀だったので、ここも、小声、簡略のお勤めだった。丁度、出棺の時、般若心経だった。そうしたら、参列者の年配の方に、「送っていただき、ありがとう御座いました」とお礼の言葉をいただいた。



二番札所・弘道寺



.....二番札所・弘道寺で珍しいを伺った  
その日は丁度、本堂で葬儀があり、ゆっくり出来なかったが、境内に珍しい花があると聞いて見に

行った。井上靖が奈良・唐招提寺からいただいたものだという。

・・・・鑑真和上の御廟のそばと、御影堂供華園では、和上の故郷、中国揚州から送られた瓊花（けいか）の花が、春の終わりと夏の到来を告げるように、小さな白い花を咲かせます・・・・鑑真和上の故郷である、江蘇省揚州市の名花で、ガクアジサイに似た白い可憐な花を咲かせる「瓊花（けいか）」の見頃に合わせ、御影堂供華園が特別開園されます。

現在、花を咲かせている瓊花は、鑑真和上遷化 1200 年の昭和 38 年（1963）に記念事業の一環として、中国仏教協会から贈られた一株の子です・・・・唐招提寺ネット  
一見、何処にでもあるような花だったが、そんな高貴なものとは、思わなかった。日本には、ほんの数本しかないという・・・・



「瓊花（けいか）」

弘道寺で昼食時間になった。本来は、本堂でいただくが、今回は近くのコンビニに行った。昼食の条件は、「絶対、トイレがあること」。バス内で昼食を終わり、午後に移ったら、外は青空が広がっていた。

弘道寺から国土峠まで、標高差 300m を上る。最初は、遮り物がない道路でギンギンに暑かった。梅雨明けみたいな感じだった。何でもこの日、西の方は真夏日だったという。

それでも30分上ったら、樹林帯に入りイイ風が渡り涼しかった。雨上がりでオゾンも一杯だった。1時間ちょっとで峠着。ここで大休止。皆さん、よく頑張った。峠を越えれば下るのみ。筏場でワサビ田を見学。ワサビの花が咲いていた。

更に下って、ワサビ店「たか惣」で待望の「ワサビ・アイス」だったが、既に店は廃業??だった。その下のワサビ屋も廃業。コロナの影響もあるかも知れない。いずれにしても、この山奥で貴重な店がなくなるのは残念。

ドンドン下って、貴僧坊・水神社で休憩。皆さん、大分疲れて来た。16:00まで頑張ることにした。結局、3番・最勝院手前の戸倉野で終了した。今回は、20km以上の巡礼で試練そのものだった。2017年は、1時間遅れだったが、「たか惣」で終了だった。それを考えれば、皆様、よく頑張ったと思います。



筏場のワサビ田